

## 幹本申第5号「JR 東日本グループのさらなる飛躍に向けた新たな組織と働き方について」に関する解明入れ（その1）⑤

9. 新幹線本部各 UT における現在の執務箇所の現在員数と再編後の出面数と現在員数を明らかにすること。

### 【回答】

年間を通した平均的な業務量の基準として、新幹線運輸車両部、新幹線設備部、新幹線電気ネットワーク部毎に 1 日当りの出面数を示すこととなる。

《組合》再編後は各部毎に示していくということだが、現在の現業機関の出面数も含めて判断していくのか。

《会社》大枠で言えば業務に必要な出面を示していくことになる。7月再編時の断面の出面を示しただけなので、今後の施策等で提案していく場合には、部単位で示していくことになる。

《組合》7月1日時点では現業機関毎の出面数に変わりはないということか。

《会社》現時点では示したものから大きく変化しない。新しい体制になった時に、各拠点で何人が働くかというのは業務のあり方によって検討していく。業務内容に変更がなければ、大きくは変わらない。例えば乗務員で言えば、各職場の行路で稼働している現実があるので、そこに人を配置していくという認識。

《組合》年休取得や各種制度、企画業務含めたものになるのか。

《会社》その通りである。一方で年休などは局地的に重なったりする部分があるので、基本的に必要な体制を構築していく考え方に変わりはない。労働時間管理もしっかりやっていく。

10. 新幹線本部における新規採用者の配属の仕方について明らかにすること。

### 【回答】

採用については各事業本部と連携し、引き続き柔軟に対応していく。なお、社員の運用は就業規則に則り取り扱うこととなる。

《組合》新幹線本部での新規採用者はどのように配属されていくのか。

《会社》現行で新幹線統括部として採用していないので、各事業本部や本社とも連携して柔軟に対応していく。

11. 新幹線設備部、新幹線電気ネットワーク部の今後の配属の考え方と保守エリアについて明らかにすること。

### 【回答】

社員の運用は就業規則に則り取り扱うこととなる。なお、保守に必要な体制は構築していく考えである。

《組合》拠点があり、エリアが広がっていく考え方において、配属エリアを希望する方もいると思うが、どのようになっていくのか。

《会社》事業本部、県単位採用は継続するので、事業本部で社員の適正や希望を勘案して柔軟に配属を決定していく形になる。採用する段階で事業本部と連携していく。ずっと同じ職場にいるのかは、様々な経験を積んでもらいたいので社員の希望を聞き、個別の事情を勘案して配置していく。コミュニケーションはとっていく。